

3-1

テーマを設定する

プレゼンテーションの目的(5W1H)を確認したら、それを生かして、次は**テーマ**を考えましょう。

テーマ設定の3つのパターン

具体的なテーマを指示された場合	大まかなテーマを指示された場合	自分で自由に設定する場合
<p>特定のテーマを指示された場合は、それに合致した発表内容を準備します。</p> <p>例:「京都議定書採択以降のCO₂削減政策とその効果について、ひとつの国を選んで報告しなさい」</p>	<p>「地球温暖化について」といった、幅のあるテーマを指示された場合は、それに関連するもので、より絞りこんだテーマを設定する必要があります。</p>	<p>「環境に関連があればどのようなテーマを設定してもよい」といった場合です。このような場合でも、授業の内容と関連があるテーマを選びます。</p>
<p>自分が特に興味を持ち、かつ、他の学生と情報共有や意見交換をする価値があると思われるテーマ案を書き出して、絞りこんでいきます。その過程では、以下のような作業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業中にとったノートや配布資料を読み返す ② 図書館などで関連文献や資料を調べ、内容を整理する ③ 必要に応じて、先生と意見交換を行ったり、先生からアドバイスをもらったりする 		

テーマを設定したら・・・

テーマを設定したら、発表で何を伝えるかを具体的に考えていきます。

プレゼンテーションも、レポートと同じように「**序論**」「**本論**」「**結論**」で構成されます(次ページの「アウトラインの構成とポイント」を参照)。構成に合わせて、具体的にどのような内容にするのかを、考えていきましょう。必要に応じて、さらに文献や資料を調べることも大切です。

